

二三二九番

雪寒みゆきさむ 咲きには咲かずさ 梅の花うめはな よしこのころ
は かくてもあるがね

二三三〇番

妹がためいも ほつ枝の梅をえうめ 手折るとはたを 下枝の露しづえつゆ
に 濡れにけるかもぬ

二三三一番

八田の野やたのの 浅茅色付くあさちいろづ 愛発山あらちやま 峰の沫雪みねあわゆき 寒さむ
く降るらしふ

二三三二番

さ夜ふけばよ 出で来む月をいでこつき 高山たかやまの 峰みねの白雲しらくも
隠すらむかもかく